

事務局

基本方針

事務局
事務局長 稲光 貫太

近年、鳥栖青年会議所の会員数は減少傾向にあり、経験年数の浅い会員の割合が多く、地域住民に対する運動を十分に行うことが難しくなりつつある状況の中でも、会員各々が成長できる好機と捉え、一致団結して連携と絆を深めることが期待されます。組織を根幹から力強く支える盤石な基盤を確立し、青年会議所が地域リーダーを育成する団体であるという強みを活かして、地域に存在感を示すことができる活力ある組織の構築が必要です。

まずは、鳥栖 J C 全体の活性化のために、事務局として環境整備に注力し全会員による委員会活動や運動を下支えすることで、個々の力を集結させ全体の底上げを図ります。そして、総会・例会において、全会員が集う大切な機会という認識のもとセレモニーや会議の質を高めるために、運営する委員会を支えることで、全会員の意識統一、相互理解を深めます。さらに、理事会において、建設的かつ能動的な会議の場とするために、円滑な運営に努めることで、青年会議所の核となる会議における創造性と生産性の向上を図ります。また、メンバー各自の地域運動に対する気概を高めるために、様々な経験ができる各種大会への参加を促し、そこで得た個々の経験を組織に還元することで、組織の成長へと繋がります。そして、地域住民に J C 運動への賛同・参画をしてもらうために、SNS 等を用いた継続的な広報や他団体が行う事業に参画して交流を深めることで、鳥栖 J C の存在と運動の伝播を図ります。さらに、鳥栖 J C の組織体制の維持のために、収支予算の立案・管理・決算処理・次年度理事長選出業務を適切に行い、組織としての健全な運営に繋がります。

地域を支えるリーダーとして互いに切磋琢磨して個々の成長を遂げ、個々の力を集結させ強い絆で結ばれた我々が、同じ方向に向かって意思を統一させ、自発的に相互支援する関係の構築を実現し、地域に影響力がある活気に満ち溢れた力強い組織の創造を目指します。

<事業計画>

1. 理事会・臨時理事会、議事録作成などの事務局の運営
2. 総会・例会の運営
3. J C 運動への賛同・参画に繋がる継続的な広報
4. 日本 J C (地区協議会・ブロック協議会) の窓口業務
5. 各種大会への積極的な参加促進
6. 収支予算の立案・管理・決算処理
7. 渉外活動・セクレタリー業務
8. 次年度理事長選出に係る業務
9. 全会員による会員拡大 (全員)